

2011年6月2日

同志社大学フォーミュラプロジェクト

5月月報

支援者様

梅雨の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、同志社大学フォーミュラプロジェクト(DUFP)の5月(5月1日～5月31日)の活動について報告させていただきます。まず、現在当プロジェクトではスポンサー企業様・個人支援者様の御支援・御協力により活動を進めており、車両の早期完成を目指して製作を行っております。そして、技術面に関して多大なるご支援をいただいております先生方、OBの皆様方に深く感謝致します。今後とも宜しく願い申し上げます。



図1.自立した車両

1.活動報告

09 年度車両解体式

5月4日に2009年度(第7回)大会に出場した車両の解体を行いました。この車両は私が1回生の時に出場したとても思い出が深い車両です。解体は当時の主力メンバーだった現在修士1回生のメンバーで行われました。解体中は当時の苦労話や思い出話をされていました。

月例会議

5月14日に5月月例会議を行いました。今回の目的は、ゴールデンウィークまでに行った車両製作の進捗状況の確認とデザインレポートについてでした。また、今回初めて月例会に参加する1回生のメンバーもおり、新鮮な雰囲気でした。

インパクトアッテネータ試験

5月の月上旬からインパクトアッテネータ(衝撃吸収材)の試験を始めました。試験は当大学の構造工学研究室の藤井先生、研究室の皆様の御協力の下、8回目の試験で無事に成功することができました。今年から、レギュレーションが変わり他の大学も苦労されているようです。実験に協力していただいた、構造工学研究室の皆様ありがとうございました。

大会書類提出

5月31日、6月1日に提出期限を迎える大会提出書類(大会プログラム記載データ・インパクトアッテネータデータ・安全構造同等性フォーム)を提出しました。6月は大会の得点で重要となるデザインレポート・コストレポートの提出日が重なります。より多く得点できるよう、気を引き締めて製作に時かかって参ります。

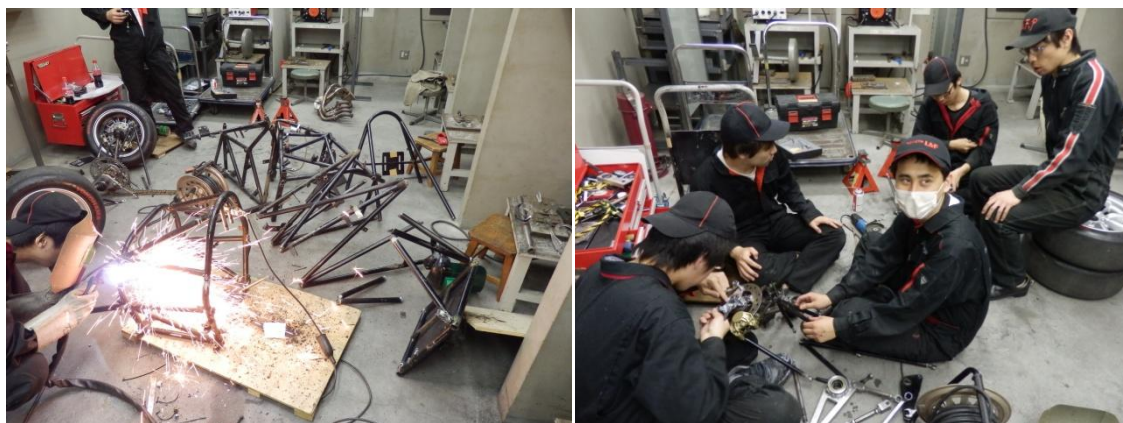


図 2.3. 09 車両解体の様子

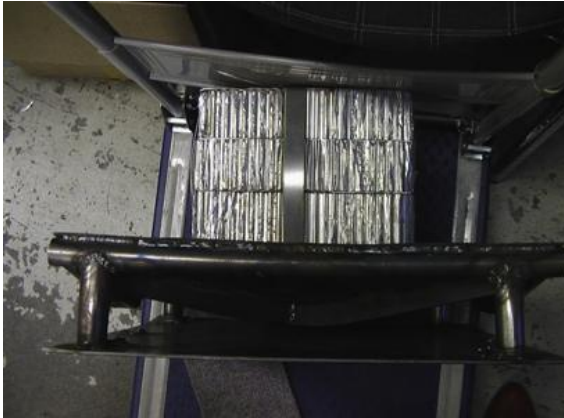


図 4.失敗したアッテネータ



図 5.成功したアッテネータ

2. スポンサー様からの御支援

株式会社プロト様

株式会社プロト様より、ブレーキホースを割引価格にて販売していただきました。車両の安全性で最も重要な部品の1つです。誠にありがとうございました。

株式会社丸三自動車商会様

株式会社丸三自動車商会様より、アクセルワイヤーとクラッチワイヤーを割引価格にて販売していただきました。車両の操作に関わる大切な部品です。誠にありがとうございました。



図 6.株式会社プロト様より御支援していた
だいたブレーキホース



図 7.株式会社丸三自動車商会様より御支
援いただいたアクセルワイヤー及びクラ
ッチワイヤー

3.今後の予定

6月は、静的審査に向けての書類作りと、シェイクダウンが控えております。また、安全勉強会で車検をしていただけるので、とても忙しい月となりそうです。

またプロジェクト科目では、名古屋市にありますトヨタテクノミュージアム産業技術記念館へ見学に行きます。

6月4日	サスセッティング講習会
6月5日	トヨタテクノミュージアム産業技術記念館見学
6月11日	自主車検
6月13日	デザインレポート・デザインスペックシート提出期限日
6月22日	コストレポート提出期限日
6月26日	安全勉強会(車検)

4.最後に

車両も自立し、シェイクダウンも間近になって参りました。静的資料の提出もあり、やるべきことは山積しています。チーム皆で協力して活動していきたいと思えます。

今後も、ものづくりの原点を忘れることなく活動していきたいと思えます。最後になりましたが、支援者様には今後も変わらぬ御支援・御協力をお願い致します。

同志社大学フォーミュラプロジェクトメンバー一同

同志社大学フォーミュラプロジェクト

2011プロジェクトリーダー

理工学部機械システム工学科 B3

立元恵祐(タツモト ケイスケ)

〒610-0321

京都府京田辺市多々羅都谷1-3

URL:<http://dufp.net/>

E-mail: buj4071@mail4.doshisha.ac.jp

編集後記

私達の活動場所である近畿地方も5月26日に梅雨入りし、じめじめとした毎日が続いております。気温の移り変わりも大きくなり、風邪をひいてしまい、1週間近くダウンしておりました。今後は体調管理に気をつけながら、シェイクダウンや静的審査に向け努力して参ります。